

事務事業名		森林総合利用施設管理運営事業			☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	05: 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間	予算科目 会計 款 項 目 事業 01 06 02 03 01
	施策名	23: 豊かな地域資源を活用した観光の振興				
	基本事業名	02: 観光資源の発掘と連携				
根拠法令					☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成3 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 [計画期間] 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入	
所属	部課名	農林水産部 農林課				
	係名	農政係	電話	27-3111		
			内線	344		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・森林総合利用施設(フレアイランド尾崎岬)を市民や観光客に快適に利用してもらうための事業。 (施設内容: コテージ、バンガロー、キャンプサイト、多目的広場、バーベキューハウス、管理棟) ・受付、管理(清掃、草刈り)、料金徴収、設備の保守点検を指定管理者に委託し、宣伝、修繕等を直営で実施している。 ・事業費は、指定管理者への委託料等に支出される。						全体計画(期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A) + (B) 0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称 単位	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 営業日数 日	
森林総合利用施設(フレアイランド尾崎岬)の受付、管理、清掃、料金徴収、設備の保守点検を指定管理者に委託し、宣伝、修繕等を直営で実施している。		イ 修繕件数 件	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ	
前年度と同様 施設の修繕を計画的に行う。			
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
フレアイランド尾崎岬 利用者(市民、観光客)		名称 単位	
		カ 維持管理面積 m ²	
		キ 本年度利用者数 人	
		ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
施設の適切な管理が行われ、利用者に安全で快適に利用していただき、市民や観光客の利用の増加を図る。		名称 単位	
		サ 施設不具合件数 件	
		シ 宿泊を伴わない施設利用者数 人	
		ス 宿泊した施設利用者数 人	
結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
体験してもらう。 宿泊してもらう。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)
投入量	事業費	単位						
		千円						
投入量	事業費	国庫支出金					5,134	
		都道府県支出金						
		地方債						
		その他	6,588					
		一般財源	5,461	7,699	8,504	7,160	9,539	6,517
	人件費	事業費計(A)	12,049	7,699	8,504	7,160	14,673	6,517
		正規職員従事人数	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	400	150	100	100	100	100
		人件費計(B)	1,600	600	400	400	400	400
		トータルコスト(A) + (B)	13,649	8,299	8,904	7,560	15,073	6,917
活動指標	ア	日	365	365	365	365	365	365
		件	2	6	1	2	2	1
対象指標	カ	m ²	232826	232826	232826	232826	232826	232826
		人	14843	20347	23423	21853	19387	17241
成果指標	サ	件	2	6	-	-	-	-
		人	12144	17852	20279	18891	16326	14709
		人	2699	2495	3144	2969	3061	2532

事務事業ID	0571	事務事業名	森林総合利用施設管理運営事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
林業従事者の保養施設を兼ねたレジャー施設を建設するため、林業構造改善事業を導入して実施した。			
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
リゾートブームの沈静化に加え、パブル崩壊後の長期不況により、旅行人口が減少している。 キャンプデッキ、トイレ、バンガローなど屋根のかかっている部分の腐食が進んでいる。 ガスコンロをはじめ新築当時から使用している備品の耐用年数が経過している物が多くなっている。 木製遊具が耐用年数を待たずに使用不能になっている物もあり、他の物も毎年の補修では対応しきれないほど腐食してきている。 震災復興を行う、ボランティアや建設業者等がコテージ・バンガローを利用している。			
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
利用者から、少人数で宿泊した場合のバンガローの料金が高いと言われている。 利用者から、バンガローやコテージから「海が見えない。」と言われることがある。 バーベキューハウスに電灯がついていないため夜に使用できなくて不便である。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 観光業の振興には結びついているが、林業の振興には結びついていない。	
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 観光業的な要素が強い施設であり、市が直接行わなければならないものではない。 ただし、市が事業主体として国庫補助事業を導入して設置した施設であることから、事業の廃止・譲渡をする場合、補助金を返還しなければならない。	
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] フレアイランド尾崎岬の適切な管理により安全で快適に利用してもらうこと、利用者(市民、観光客)の利用の増加を図ることは対象・意図として妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 他の施設との優位性(新しい、安い、心地よい)を確保できれば可能。 市内施設との幅広い連携を図り、一体的な観光PRをしていくことが必要。 宣伝が不足している。 利用料金が他の施設と比べて若干高めに設定されている。	市
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 市の観光客の減少につながる。 市が事業主体として国庫補助事業を導入して設置した施設であることから、事業の廃止・譲渡をする場合、補助金を返還しなければならない。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 市内に他の類似施設がない。 ☒ 他に手段がない [理由]	
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] すでに、平成18年度から指定管理者制度の導入により事業費の削減に努めた。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] すでに、平成18年度から指定管理者制度の導入により事業費の削減に努めた。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 指定管理者の選定にあたっては、公募制を採用し公平に行った。 委託業務の仕様書には、利用者について公平性を欠くことのないよう明記している。	

事務事業ID	0571	事務事業名	森林総合利用施設管理運営事業
--------	------	-------	----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・利用者を増やすためには、施設の快適性、PRが重要であるが、経費節減のためその分に十分な対応ができていない。 ・全国各地に本施設と同等の機能を持つ施設が点在している為、いかに差異化を図るかが重要となっているが、十分な差異化を図れていない。																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・木製遊具の抜本的な修繕を年次計画で行い、利用者の利便性を高めて誘客に結びつける。 ・老朽化しているガステーブルを更新し、利用者の利便性を高める。 ・指定管理者が行うPR活動を支援していく。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上			●																			
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 ・施設の利用者を増やすために指定管理者はイベント等の開催などで努力をしているものの、施設の老朽化と快適設備の不十分さで他の競合する施設に比べて評価が低い。 ・利用者の増加を求めるのなら施設の改修は不可欠であり、事業費が膨らむことになる。																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長
-------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☒ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由 施設建設から20年が経過し劣化が進んでいる。																						
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 大規模改修は困難なので、計画的な修繕を行っていく。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
